

日本ナシ新品種「石川n1号」の交配親和性

1 背景・目的

県が育成した日本ナシ「石川n1号」は、新品種であることから交配親和性が明らかとなっていない。

そこで、県内産地で一般的に用いられている受粉用品種および主要品種と「石川n1号」との交配親和性を明らかにするとともに、果実品質に及ぼす影響について検討する。



「石川n1号」

2 技術のポイント

- (1) 県内産地で一般に花粉採取に用いられる品種と「石川n1号」には交配親和性がある。また、主要品種では、「幸水」「豊水」との親和性はあるが、「あきづき」とは不親和である(表)。
- (2) 平均果実重は、いずれの花粉品種においても 500g 以上となり、十分な果実肥大が得られる(図)。
- (3) 硬度、糖度ともに花粉品種の違いによる差はない(データ略)。

表 花粉品種別の「石川n1号」結実率

花粉品種		「石川n1号」 結実率(%)	〈参考〉 花粉発芽率(%)
受粉用品種	松島	93	65
	ヤーリー	93	78
	新興	88	71
	長十郎	85	75
	輸入花粉	70	52
主要品種	幸水	100	62
	豊水	100	73
	あきづき	0	68

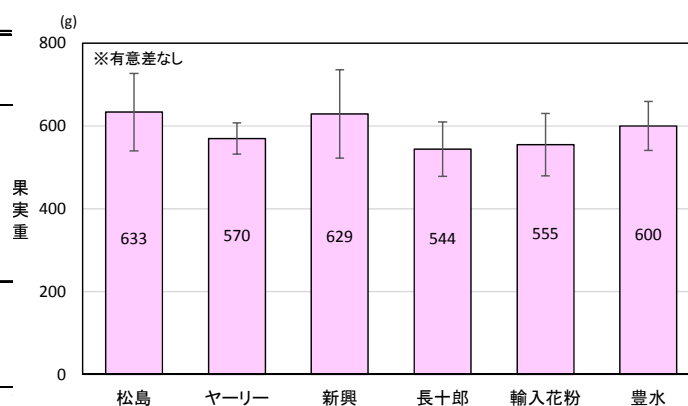


図1 花粉品種別の「石川n1号」果実重

3 成果の活用と残された問題点

- (1) 結実確保のため、受粉前には予め花粉の発芽検定を実施する。
- (2) 「幸水」との交配親和性はあるが、開花期が「石川n1号」より遅いため、虫媒による自然受粉には使用できない。

問合先：園芸栽培グループ TEL076-257-6911
 担当者：谷 克史・藤田良和